

教育
広報

あきる野の教育

2020 (令和2)年11月1日 編集・発行 あきる野市教育委員会 〒197-0814 あきる野市二宮350 ☎042(558)1111(代)



家庭の目の作文から

あきる野市教育委員会

教育長

私市 豊



あきる野市では、毎月第2日曜日を「家庭の日」と定めて、家族のふれあいを大切にする楽しい家庭づくりと、子どもたちの健全育成に取り組んでいます。コロナ禍の令和2年度は、多くの事業が取りやめになる中、「家庭の日」推進事業の一つとして「小学生作文募集事業」を実施しました。

小学校1年生から6年生まで応募総数131作品から一次審査を通過した27作品をじっくりと読みました。どの作品も家族を思う優しい気持ちや学校を通しての様々な出来事などが素直に表現され、胸がほっこり温かくなるものばかりでありました。今年の作品の特徴は、時代を色濃く映し、半数以上の17作品が「新型「コロナ」に関するものでありました。子どもたちの日常生活にも「新型「コロナ」」は大きな存在になっていることがわかります。

しかしながら、子どもたちはコロナ禍にあってもそれを前向きに捉えていることが驚きです。私たち大人は、新型「コロナ」によって「今まで普通にできていたことができなくなってしまう」「気持ち沈んで元気がでない」「後ろ向きの事ばかりを考えてしまいます。外出自

粛生活の中で、家庭の中がめつくりと暗くなり、子どもにたくさん当たったり、夫婦の間でのトラブルが起り、挙げ句の果てに「コロナ禍離婚」などの言葉も生まれました。

「コロナは、せかい中の人たちがくるしめています。コロナが早くなくなると、せかい中の人たちがあわせにくらせるようになってほしいです。」

だから、コロナがなくなるように、みんなできまりをまもればいいとおもいます。わたしも守ります。

わたしは、学校が大好きです。早くコロナがなくなって、しんばいしないで学校にいきたいです。

す。(原文のまま)小学校1年生の作文の一部です。自分の気持ちを素直に表現して、読む人に新型コロナの終息を心から願う気持ちが伝わってきます。このような子どもたちの純粋な優しさ、逞しさを見習いたいものであります。

11月3日に予定していた入賞者の表彰式は、残念ではありましたが中止しました。入賞された児童及び保護者、ご家族の皆様には、晴れの舞台がなくなりつつありますが、作品の素晴らしさを皆さんで改めて話し合い、喜びを分かち合っていたきたいと思っています。

学校行事もコロナ対策

市内小中学校で運動発表会などが開催されました。今年度は新型「コロナ」ウイルス感染症対策のため種目数を減らす、ソーシャルディスタンスを取るなどの様々な工夫を凝らしました。

これからも子どもたちが楽しみにしている学校行事を開催できるように感染症対策を徹底してまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。



コロナ対策を行いながら運動発表会の準備を行いました。

